

学校建設(カンボジア)

小中学校5棟24室完成。 着工分を含め建設実績は299棟に。

建設支援校リスト

建設累計	支援学校名	地域	受益者 (生徒数)	受益者 (教員数)	支援内容						
					校舎 棟	トイレ 棟	机 椅子	井戸または 水タンク	靴箱		
281	ポーマオン小学校	スワイエン州	370	7	1	3		75		9	
282	チューティエル中学校	スワイエン州	488	16	1	5	1	4	125	1	15
283	ユンニエン小学校	バットンバン州	503	9	1	5	1	4	125	1	15
284	クラオル小学校	プレイベン州	181	2	1	5	1	4	125	1	15
285	ジャヤバルマンVII中・高校	カンダール州	3310	138	1	15	1	14	375	1	45
286	ポートルム中学校	スワイエン州	805	33	1	6	1	5	150	1	18
287	ビームロー中学校	プレイベン州				1	4		100		12
288	ビームロー中学校	プレイベン州	1952	47	1	3			75		9
289	トロピアンコンプ小学校	スワイエン州	371	7	1	4	1	4	100		12
290	コーク小学校	コンボンチャム州				1	3	1	75		9
291	コーク小学校	コンボンチャム州	75	1	1	1			25		3
292	チュレイム小学校	スワイエン州	120	4	1	4	1	4	100	1	12
293	ブーンチャー小学校	プレイベン州	292	8	1	5			125		15
294	ベッチョーンワール小学校	バットンバン州	77	3	1	3	1	3	3	1	9
合計			8544	275	14	66	9	45	1578	7	198

ベッチョーンワール小学校の机・椅子は日本から輸送される中古の机・椅子を寄贈する予定。
下線の学校は今年度完成した学校

継続支援の実績

合計	支援校数	支援地域数	受益者 (生徒数)	受益者 (教員数)	トイレ 棟	机 椅子	井戸 水タンク	支援内容						
								本棚	図書	ボールペン	鉛筆	ノート	ボール	
合計	15校	7地域	9816	321	0	0	2	0	7	1829	7251	1649	2377	39

支援概況

本年度は48校から建設要望が届き、前年度の要望書も含めて62校の現地調査を実施しました。その中から、

①教室が足りず2部制以上で授業を行っている学校や不完全校

②老朽化により授業の実施が天候などで左右される学校

などいくつかのチェック項目を勘案したうえで、十分協議し、優先順位の高い学校から建設を行いました。(写真A)

本年度は5州の小中学校14棟を着工し、2013年3月末までに合計5棟24室、トイレ4棟17室、給水施設4基を建設しました。

これにより、カンボジア全国での校舎建設数は294棟(着工済含む)、ラオス1棟とネパール4棟(うち2棟は着工分)を加えると299棟になります。JHPの支援地域はカンボジア24州中17州となりました。

丈夫な校舎を建設するために！ 一級建築士を派遣

一級建築士の青野達司理事を2012年9月1～8日まで派遣し、5州13校を視察しました。建設中の校舎(4棟)、着工前(4棟)のチェック、建設後(5棟)の維持管理方法、また、学校調査時に老朽化の度合いを測る方法等の助言を得ました。(写真B)

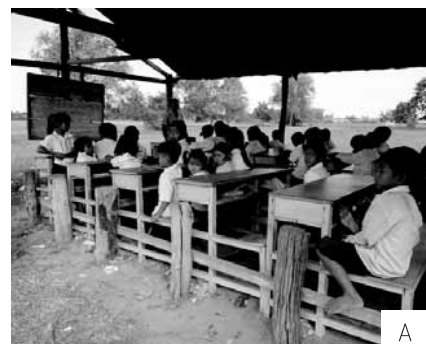
既建設校の校舎モニタリング実施

昨年度までに建設した校舎のうち、61校76棟を訪問し、問題点の有無、校舎・トイレの使用状況などを確認しました。(写真C)

学習環境維持のための継続支援

各学校に割り振られる学校予算では、教材、文房具、図書、備品などの購入代、校舎修理代などを賅えません。今年度は上記リストの他にも7校に100台のソーラーランタンを支援し、教師の夜間の教材準備にも役立てられました。

ニーズに基づいた継続支援は、健全な学校運営にとっても役に立っています。(写真D)



A 壁の無い老朽校舎で勉強する子どもたち



B 老朽校舎をチェックする青野理事



C 中学校建設後モニタリング



D ソーラーランタンの使い方を説明するスタッフ

プロジェクトの背景

国際機関、NGO等の援助により、カンボジアの状況は改善されつつあるが、一方で貧富の差は拡大している。小学校進級率は上昇しているが、不完全校(所定の学年まで受け入れができない学校)や教室不足の学校、校舎の老朽化等も深刻であるため、これらの学校の学習環境を改善する。また、中学校への進学率も上昇しているが整備が行き届いておらず、通学が困難であることや、貧困が原因で就学率が依然低い状況である。また、教室不足のため、中学校も2部制の学校が増加している状況である。



ブーンチャー小学校建設前最終協議にて衛生教本配布

衛生教本を活用した衛生指導

当会は学校建設前の最終協議の際に、教員、生徒代表、村民代表に対して当会が作成した衛生教本を使い、清潔と健康の関係、トイレの使用促進、ゴミの扱いなどの指導を行なっています。また、ゴミ箱を寄贈し、校内美化を促進しています。(写真E、F)

更に、建設後のモニタリングの際に、学校内の清掃状況やトイレの使用状況などを観察し、必要であれば教員を中心に再指導しています。この際に、模範となる学校の活動(掃除当番制等)を紹介して改善に繋げています。当会オリジナルの衛生教本は、1校あたり50冊(着工前と完成後に25冊ずつ)配布。今年度は12校に合計425冊を配布しました。(写真左)

井戸水の水質検査と結果の共有

当会が建設した井戸水は必ず研究機関で水質検査を行ない、ヒ素、大腸菌などの有無を調べています。結果は学校に伝え、使用する村民にも共有しています。井戸支援の第一の目的は、トイレ用の水の確保であるため、ヒ素、大腸菌が出た場合、飲み水として使用しないように伝えています。(写真G)



G 井戸で手を洗う子どもたち

江東区及び海外リサイクル支援協会との連携で中古机・椅子を輸送

2012年8月、江東区の小・中学校7校から届いた机・椅子160セットをコンボンスプ州アキャモヘイセイ小学校に寄贈。搬入作業はカンボジア8月隊も手伝いました。

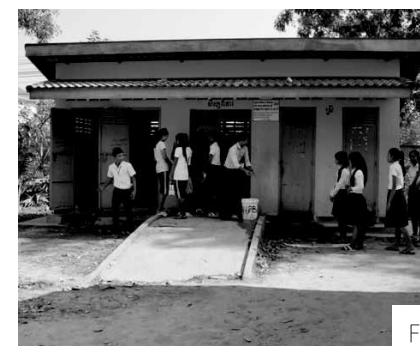
尚、海上輸送のコンテナには、全国から当会に寄せられた楽器等も積み込み、支援に備えることができました。(写真H、I)



H 日本から届いた机・椅子の搬入作業



E ビートゥナー小学校清掃風景



F トイレ掃除は衛生指導の成果

生徒メッセージ



リン・リティさん

僕の名前はリン・リティです。11歳、アキャモヘイセイ小学校5年生です。江東区の小・中学校の皆さんには、机とイス不足の私たちのために、皆さんの大事な机とイスを送ってください、皆さんのやさしさに感謝します。皆さんのご健康とご多幸を願っています。



I 江東区の小中学生から届いたメッセージ